

## 次号予告

### 特集 Society5.0におけるモビリティサービス「つくばモデル」実現に向けて—

大学を拠点とするモビリティサービス……………安東弘泰・高原 勇・大澤義明（筑波大学）  
ラストマイル・モビリティシェアリングシナリオモデルに基づく運用計画案の作成—  
……………高橋直希（KDDI（株））、高野祐一・吉瀬章子（筑波大学）  
モビリティサービスの階層性と地域拠点—自動車型小さな拠点の可能性—  
……………谷口 守・森本瑛士（筑波大学）、川崎 薫（東日本電信電話（株））  
農村における空間的秩序とモビリティサービス—茨城県石岡市八郷地域の旧上曾村を事例として—  
……………藤川昌樹（筑波大学）、綿引由美（慶應義塾大学）  
モビリティサービスのマーケットデザイン……………栗野盛光（慶應義塾大学）、高原 勇（筑波大学）

## メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.osrj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

## 編集後記

●毎年のことながら、大学の新入生たちも新生活に慣れ、遅刻する学生が多くなるこの頃です。私の勤務する大学では、交通機関遅延による追試験が認められていることもあり、普段から「交通機関が遅延した場合には、駅で遅延証明書をもらいなさい」と伝えていますが。あわせて、「遅延証というエビデンスがないと、社会では信じてもらえないんだよ」と世知辛く伝えてもいます。人を疑うことの少なかった学生からは、少し驚きの表情を向けられます。

●さて、今月号の特集は「医療・医薬とヘルスケア・インフォマティクス」です。医療にお世話になったことがない、という人はいないと思います。私たちの生活に関連した記事を見つけられることを请け合います。

●医療の発展は、当然、医師をはじめとする専門分野の方々には依るところが大きいですが、人口に膾炙するためには、本号で紹介されるサービスシステムや、啓蒙周知といった周辺からのサポートが不可欠なことも言を俟たないでしょう。どんな情報においてもそうですが、とりわけ医療については、正しい、あるいは論拠を伴った情報が広まることが社会に求められます。細菌という概念が広まっていなかった中世ヨーロッパでは、黒死病（ペスト）の原因をユダヤ人に求めた歴史すらあります。学生たちには、「誰が言ったから」とか、「ネットに書いてあるから」といった判断基準ではなく、（本誌のように）「エビデンスに基づいた話」を重視しましょう、と改めて伝えようと思います。（小林隆史）

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 繁野 麻衣子（筑波大学）  
特集担当編集委員 蓮池 隆（早稲田大学）  
委員 朝日 弓未（東海大学）、伊豆永 洋一（神奈川大学）、井床 利生（IBM基礎研究所）、井家 敦（神奈川工科大学）、鶴飼 孝盛（防衛大学校）、大竹 恒平（東海大学）、加藤 怜（公益財団法人鉄道総合技術研究所）、小林 隆史（立正大学）、佐久間 大（防衛大学校）、笹谷 俊徳（東京ガス株式会社）、猿渡 康文（筑波大学）、高野 祐一（筑波大学）、生田目 崇（中央大学）、蓮池 隆（早稲田大学）、原田 耕平（株式会社NTTデータ数理システム）、山本 零（慶應義塾大学）、吉田 琢史（株式会社東芝）

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

令和元年7月号 第64巻 第7号 通巻703号

代表者 齊藤 裕

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 繁野 麻衣子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社（Tel 03-3546-1337）へ。